

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

担当エリアは富岡第二地区と金沢シーサイドタウン地区はそれぞれに65歳以上の人口割合が増え、今後急速に高齢化が進行する見込みである。介護予防、ロコモ予防等の取り組みは引き続き重要であるが、それでも地形や住居の制約、疾患等から移動が困難になり、地域社会から孤立する方が増えるリスクが高い地域であると思われる。
地域支援の担い手の発掘と見守りを兼ねた気軽に立ち寄れる居場所を各地区につくっていくことが必要であると思われる。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	エリア内の誰もが気軽に立ち寄れる場所に、地域住民の居場所となる拠点を、住民主体で継続的に設置できるよう調査、交渉を行っていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	毎月の会議等で地域課題について情報交換を行い、地域ケア会議の議題として適切なケースを検討する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	包括だけでなく、地域交流・生活支援も含めた5職種と所長が毎月定例の区とのケースカンファレンスに参加し、地域の課題について個別ケースと地域全体の視点から検討する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	施設利用団体だけではなく、様々な来館者や地域の会議などに出席した際にもコミュニケーションを積極的にとり、地域ニーズの把握に努める。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	基幹相談支援センターや後見の支援室等との連携事業を通じて、高齢化していく障害者の権利擁護につなげていく。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

新規の相談もコロナ禍でもあるが増えており、在宅への訪問相談も増えました。昨年同様に地域の急速な高齢化が進んでいることを実感しています。
ケースカンファレンスに全職種で参加し、地域の個別ケースから新たな課題を見つけて事業に結び付けて認知症講座、VR体験などを行い認知症啓発に努めました。地域の中で孤立している独居や夫婦のみの高齢者に地域出ただけのように地域住民の方とカフェ開設を行いました。

区からのコメント

今年度も身体機能や認知機能の低下を防ぐための様々な事業を工夫して行っていただきました。
利用者ニーズに応える形で開催されている子育て世代向けの事業や、県や市と連携した事業展開は結果としてケアプラザ周知にもつながる取組になっています。
担い手不足が全区的な課題の中、多くのボランティアの発掘や活動団体が他事業に参加することによる交流の機会づくりなどを積極的に行っていただきました。
地域のニーズに応える形で新規メイト養成や認知症サポーター養成講座を実施し、事業を展開いただきました
今後も地域のニーズに沿った「人」と「人」をつなげる事業展開や個別支援、関係機関連携を引き続きお願いします。また、各部署の強みとネットワークを生かした取組をケアプラザ全体として進めていただきますようお願いします。